二大中同窓会報

発行
江東区立
第二大島中学校
同窓会
代表
新保幸男

六十周年に向けて

二大中同窓会会長
新保幸男

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

二大中は、開校六十周年に近づき、在校生のはげみになりますように、スポーツ、生徒会等の表彰がありますが、日々の学校、家庭生活に努力し、一日一善を実行する人を表したいと思い、同窓会賞を贈ることになりました。役員会、世話人会等に賛成を得、報告させて頂きます。

なお、六十周年記念同窓会を開く予定であります。

タイムカプセル・オープンセレモニーは平成26年(2014年)7月26日(土曜日)に

二大中開校50周年を記念して、タイムカプセルを、二大中校庭の、国旗掲揚台の下に埋めました。

「10年後の、六丁目団地の夏祭の日に、オープンしよう!」との約束でした。

その日は、2014年7月26日(土曜日)にやってきます。

50期生から52期生の同窓生の皆さん、当時の教職員の皆さん、当時のPTA役員の皆さん、同窓会の役員が集まって、「タイムカプセル・オープンセレモニー」を行いたいと思います。「みんな、集まれ～!」

(梅津作栄)

二大中同窓会賞を制定

二大中同窓会は、平成24年12月1日、世話人会を開いて、役員会から提案のあった、「二大中同窓会賞」を制定することを確認しました。

同窓会賞は、平成24年度の卒業生から、勉学やスポーツ、ボランティアなどでがんばった卒業生の、男女若干名に、記念品を授与するものです。

校長先生はじめ、卒業生の担任の先生方のご協力を得て選考を行い、卒業式の予行練習で同窓会のお話をする際に、記念品を授与したいと思います。

二大中同窓会を末永く支えて、盛り上げていただけることを期待したいと思います。

二大中同窓会世話人会を盛大に

平成24年12月1日、西大島の「和民」において、同窓会世話人会を忘年会をかねて行いました。1期生から21期生までの世話人と学校関係者、合わせて24人が参加。会場いっぱいの熱気につつまれました。

新保会長から、「二大中同窓会賞」制定の提案があり了承。

虻川二大中校長から、クラブ活動では、サッカー、卓球、テニス(女子)などで江東区大会でも優秀な成績を収めていること、1年生から4クラスに増えたことなど、二大中の近況について報告がありました。

各期の紹介があり、平成26年(2014年)の二大中開校六十周年では、タイムカプセル・オープンセレモニーの日時を確認。同窓会総会などの取り組みを相談していくことになりました。

大川たつや君と成人式で会うたよ

皆さん、覚えていますか。今から、6年半前、平成18年(2006年)の夏、当時、二大中の1年生だった大川たつや君の、お父さんから小腸の一部をもらう小腸移植手術を成功させるための3000万円募金活動を行いました。私たち同窓会も募金活動に取り組みましたが、目標を2か月ほどで達成し、大川君の手術も成功。大川君は食事がとれるようになり、二大中も無事卒業。今は、元気に大学に通っています。

1月14日、江東区の成人式会場で、大川たつや君から声をかけてくれました。とっても元気でしたのでうれしくなり、1月17日に開かれたPTAの新年会で、出席者の皆様に報告しました。

久しぶりに「たつや君を救う会」のホームページを閲覧しましたら、平成24年10月23日付で、目的を達成した救う会の解散の挨拶、ご両親からのメッセージ、会計報告(最終)が掲載されていました。6年余の救う会の活動、本当にごくろうさまでした。そして、本当に良かったなぁ、と思いました。

(PTA顧問・吉葉富雄)

成人式同窓会 タイムカプセルは先生方と一緒に 52期生

平成24年1月9日、ティアラ江東での成人式。会場では、担任だった福田克彦先生の、在校時には見たことのなかった優しい笑顔でのビデオレターで、「すてきな成人になってください」とのお言葉をいただき、皆大喜びでした。

夜は、西大島の和民での同窓会。入江孝政君が幹事となって呼びかけてくれ、61人が参加しました。先生方に連絡がとれなかったのが残念でしたが、それぞれの近況報告、中学生活の思い出話で盛り上がりました。そして、二大中六十周年でのタイムカプセルは「担任の先生方と一緒に開けよう」との声が多くでました。二大中五十周年の年に入学した52期生は、成人になった今も、お調子者で、明るい仲間たちです。（写真は木曽君が撮影した成人式のスナップです）

（追伸）四大小の6年3組の西尾クラスは卒業式の時に書いた20歳の自分への手紙と当時の宝物を詰めた「タイムカプセル」を、成人式の後、3時半から「まくら木」に集合して、西尾先生とともにオープンしました。

大雪の成人式と同窓会 53期生

平成25年1月14日、成人式が始まるころには降り出していた雨が雪に変わる。成人式会場前での傘を差しての記念写真は珍しかった（斉藤君、村田さん提供）。

久しぶりに会った友達といっしょに会場を出たり入ったり。佐々木則夫・なでしこ監督から新成人へのビデオレターがありました。続いて、各中学校のビデオレターがあって、二大中は大トリだったのですが、担任の安藤次郎先生の自筆のメッセージと懐かしのスタンプはあったのですが、先生の声が聞けずに、残念でした。また、受付番号で抽選が行われて、江戸切子の景品が当たった人もいて、盛り上がっていました。式が終わったお昼過ぎには、ティアラ江東の外は、数センチの雪が降り積もっていました。

「開始前は雨でしたので、晴れ着の足袋がぬれてしまい、とても寒かったです。大雪の中で歩くのがとても大変でした。あいにくの天気でしたが、めったにないホワイト成人式、良い思い出になりました」と村田さんが感想を寄せてくれました。

夜は、斉藤英生君が幹事になって、午後5時集合で錦糸町の「わたみん家」での同窓会。大雪のために交通機関が乱れ、大幅に遅れる人もいて幹事は大変でしたが、大雪の中を遅れても駆けつけてくれたことに感謝。50人を超える参加があり、ほとんどの人が2次会のロッテ会館の「HUB」に移動（集合写真は2次会のもので、村田さん提供）。

二大中卒業以来、5年ぶりに会う友人もいて、変わっているかなと思っていたけれど、意外とみんな昔と変わっていませんでした。結婚した人、就職した人もいましたが、学生になっている人が多かったです。楽しい1次会、2次会セットの同窓会でした。

「集楽旅行へのお誘い」を載せた会報を作りました。新年のあいさつ、そして、年老いた親が子供に語りかける歌詞「手紙　～親愛なる子供たちへ～」(訳詞＝角智織)、校歌、短信(越島先生の訃報)などがあるA4の会報。「2012･1･16」の発行日です。すごいですねぇ。

江東区立第二大島中学校【第五期卒業生】会報

集楽旅行へのお誘い
温泉でのんびりリフレッシュ
おいしいお食事とワインで乾杯！！

日　程：平成24年3月11日(日)～12日(月)
場　所：石和温泉『ホテル石庭』 055-262-4155
山梨県笛吹市石和町窪中島587
宴　会：開宴：18:00　ワイワイ・ガヤガヤ楽しく
費　用：概算 20,000円(1泊2食・交通費込み)

交通機関
バス：新宿～甲府間(石和経由)行き定期バス
新宿～石和温泉行きシャトルバス
JR：東京駅・新宿駅～石和温泉駅JR中央線

※1 同封の葉書で出欠の可否を連絡願います。
※2 参加者へは集合場所など詳細なご案内を後日改めてご連絡いたします。

新年明けましておめでとうございます
昨年、発生した東日本大震災から十ヶ月が経ちました。被災された方々には厳しい状況が続いており、また、原発の影響を受け遠方へ避難されている方々に心よりお見舞い申し上げます。早急な復興を願ってやみません。
皆さんお元気にお過ごしですか？ [illegible]
[illegible]
今回は温泉でのんびりと語らう同窓会を左記の通り企画しました。ご多忙の事と存じますがご参加を心よりお待ちしております。再会を楽しみに！！

手紙　～　親愛なる子供たちへ　～　原作詞/不詳　訳詞/角 智織

年老いた私が、ある日、今までの私と違っていたとしてもどうかそのままの私のことを理解してほしい、私が服の上に食べ物をこぼしても、靴紐を結び忘れても、あなたに色んなことを教えたように見守って欲しい
あなたと話す時、同じ話を何度も何度も繰り返してもその結末をどうかさえぎらずにうなずいて欲しい、あなたにせがまれて繰り返し読んだ絵本のあたたかな結末はいつも同じでも私の心を平和にしてくれた、悲しい事ではないんだ、消え去っていくように見える私の心へと励ましのまなざしを向けて欲しい
楽しいひとときに私が思わず下着を濡らしてしまったり、お風呂に入るのをいやがるときには思い出して欲しい、あなたを追い回し何度も着替えさせたり、様々な理由を付けていやがるあなたとお風呂に入った懐かしい日のことを
悲しい事ではないんだ、旅立ちの前の準備をしている私に祝福の祈りを捧げて欲しい
いずれ歯も弱り飲み込む事さえ出来なくなるかも知れない、足も衰えて立ち上がる事すら出来なくなったなら、あなたがか弱い足で立ち上がろうと私に助けを求めたようによろめく私にどうかあなたの手を握らせて欲しい
私の姿を見て悲しんだり、自分が無力だと思わないで欲しい、あなたを抱きしめる力がないのを知るのはつらい事だけど、私を理解して支えてくれる心だけを持っていて欲しい、きっとそれだけでそれだけで私には勇気がわいてくるのです
あなたの人生の始まりに私がしっかりと付き添ったように私の人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい
あなたが生まれてくれたことで、私が受けた多くの喜びとあなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい
私の子供たちへ
愛する子供たちへ

短信
越島先生が平成二十三年一月八日逝去されました。(享年七十九)五期卒業生十数名がご焼香に伺いご冥福をお祈りいたしました。

校歌
小名木の川に　潮みちて　行きかう舟の　数しげく　汽笛のひびき　こだまして　けむりは雲と　わくところ　かがやく希望　ここにあり

発行日：2012.1.16
発行者 黒坂 保光
市川市塩焼2-2-1-406
047-397-7014
090-8891-6803

★集楽旅行★

第5期同窓会1泊の旅

5期生

私たちは昭和35年春、学舎の二大中を卒業し、それぞれの道に進み、50有余年の月日が経ちました。その間、同窓会はホテルなどの会場で、約50名程の参加者を迎え開催されておりましたが、今回、初めて石和温泉「石庭」での開催となりました。12名の参加者でしたが、温泉にたっぷり浸かり、おいしい料理に舌鼓、昔話、孫の話等々、また、カラオケやダンスなどで盛り上がりました。わいわいがやがや、修学旅行を思い起こし、「集楽旅行」として、存分にリフレッシュしました。

(写真は、平成23年3月11日、「石庭」宴会場にて。黒坂さん提供)

ゴルフコンペ開催

6期生

私たちは昭和36年3月に卒業しました。現在67歳です。

毎年春と秋に4組でゴルフコンペを開いています。第20回大島会を2012年5月28日に、第21回は10月22日に丸の内倶楽部にて開催、めでたく10周年を迎えました。

このメンバーであと何年続けられるのだろうか？　平均寿命だと、余命10年ちょっと、そろそろエンディングノートも書いておこうかと、旅行するのも今のうち、そんな話題が出るこの頃です。

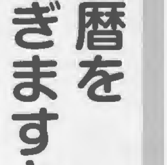
毎年続けている忘年会も、2011年には開催できませんでしたが、2012年12月15日には、大島近くの44名に連絡して、32名参加で行われました。

卒業生は195名なのですが、今年は連絡可能な70数名に連絡して、11月30日に忘年会を開く予定です。

(藤井高夫)

還暦を過ぎますと旧友との出会いが待ち遠しくなる今日この頃です

11期生



11期の同期会は今のところ予定はありませんが、近い内に皆さんにお声がけして開催したいと思いますので、よろしくお願いします。

又、近ごろ健康に気をつけるようになり何か良い方法はないかと思ってましたところ、昨年友達よりゴルフはと誘われました。若い時少しやっていたので飛びついて、誘われるままの今日このごろです。最初の内は体中筋肉痛になり、止めようとしましたが、それではいけないと思い、半年も続けたら痛みもとれ、体もスムーズに廻り、ようやくグリーンを真っ直ぐに歩けるようになりました。(自称ですが…)

同窓会でも機会があれば、ゴルフ同好会を作って、みなさんと和気あいあい、楽しもうではありませんか！　その節は同窓会のみなさまよろしく！

(佐々木幸輝)

二大中の思い出

山田真佐子（平成15～21年）

1970年代、校内暴力の嵐が吹き荒れた頃が私の教員生活のスタートでした。仕事を止めようと思ったことが何回もありました。

その後、いくつかの区を経験し、年齢から考えて、教員生活の最後の学校になると思って、二大中に赴任しました。大島の駅に降り、団地の中を通って裏門から入りました。その時、裏庭には水仙、クロッカスなどの花々が咲いていて心がなごんだことを覚えています。

校内に入って礼儀正しく挨拶をする生徒たちと会って、緊張していた気持ちがほぐれました。授業が始まってからも第一印象は裏切られず、静かに集中して話が聞ける生徒ばかりで、とても授業がやりやすく、毎日楽しく過ごせました。

二大中のことを考えると、思い出が山のようにたくさんあります。あえてその中から一つ選ぶとすれば、自分が担当したこともあって、やはり文化祭になります。ずっと劇の指導をやらせて頂きましたが、生徒たちと一緒に脚本を書いたり、遅くまで練習したりと、当時は大変でしたが、今になると懐かしい思い出です。また、学年全員で、夏休み前からずっと練習して発表した、リコーダー合奏「カノン」のメロディーは、今も時々心に響いて、懐かしい思いをかきたてます。

長い教員生活の最後が二大中だったということは、本当に幸せでした。生徒の皆さんや、お世話になった多くの方々にお礼を申し上げます。

二大中への想い

藤原啓芳

私が二大中に着任したのは、2000年（平成12年）4月、20世紀最後の年を伝統ある二大中で迎えることができたことをとても印象深く覚えています。それから、2011年（平成23年）12月まで、11年9ヶ月に渡り二大中でお世話になり、生徒、保護者、地域の皆様に恵まれたことを心より感謝しております。

二大中にはたくさんの「良き思い出」があります。その中のいくつかを紹介させていただきます。

まず、赴任して早々、二大中生の時間やきまりを守り、何事にも素直にひたむきに取り組む姿に感銘を受けました。

次に、五十周年記念式典（2004年・平成16年）で、当時生徒会長だった榊原君が原稿に一切目を向けず10分間の生徒代表挨拶をした姿、全生徒が微動だにせず集中して式に臨む姿、そして気持ちのこもった勢いある歌声に圧倒されました。来年迎える六十周年では、五十周年を記念して校庭に埋めたタイムカプセルを同窓生の皆さんと発掘できることを楽しみにしております。

さらに、PTAや地域の皆様にも大変お世話になりました。図々しくも2回出場させていただいた大島歌謡選手権で、多くの皆様に横断幕やペンライトで応援いただいたこと、管理職に昇任した際に、2度に渡り祝いの会をしていただいたこと等、想い出深いことばかりです。

また、未だに当時の教職員の方々と年に何度かお会いして、二大中の話しに花を咲かせ親交を深めています。二大中での「良き想い出」は私にとって財産です。

今後も、同窓生の皆様に受け継がれている二大中魂を私も大切にし、残りの教師生活に専念してまいります。

ありがとう「二大中」。

藤原先生の送り出し会

2012年2月26日、亀戸「和民」にて。PTAOBや永井、山本両元校長先生、山崎先生など22人で、藤原先生の栄転を祝い「二大中卒業証書」を用意しました。

（藤原先生はお父さんが前日に逝去され参加できませんでした。後日、証書を手渡しました）

4期生 大島会

2年に1度の同期会（大島会）は、平成24年6月10日、50人が集まり、大江先生にも出席して頂き盛会に終わりました。次回は全員が古希、何か企画したいと思います。（新保）

一番右側が大江先生

【同窓会役員名】

（平成25年2月現在）

名誉会長　虻川豊志校長
名誉顧問　倉持眞由美前校長
顧　問　松土英男（2期）
会　長　新保幸男（4期）
副会長　印出智之（6期）
　　佐々木幸輝（11期）
　　吉葉富雄（18期）
　　高瀬満明（21期）
事務局　椎名由里子（10期）
会　計　佐藤　薫（19期）